

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 令和7年11月11日

事業所名： こばんはうすさくら 豊田西岡教室

対象人数（保護者）20人 回答者数 20人 回収 100%

環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1			広くて見通しの良い教室だと思います。	クールダウンできるスペースも確保できるようにする。
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20				適切だと思います。	今後も職員確保に努めていく。
3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20				部屋の名前も付いていてわかりやすいと思います。	お子様にも分かりやすいように写真や絵などを用いて掲示している。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20				清潔だと思います。	毎日の清掃を欠かさずに行っている。
5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20				いつも丁寧な支援がされていると思います。	支援計画内容を職員間で共有し、それに応じた支援を行っている。
6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1			合っているかは分からない。	5領域に基づいた支援を行い、保護者様にも分かりやすいように活動記録等に記載する。
7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20				面談時に要望を聞いていただき、それに沿って計画書を作成していると思います。	最低でも6ヶ月に1度、モニタリングを行い、comiのアセスメントシートなども用いて、個別支援計画書を作成している。
8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1			面談で説明された気がします。	個々に合わせて適切な支援内容を設定し、面談時に保護者様への説明を行っている。
9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20				行っていると思います。	日々の連絡帳、活動記録などから支援内容がしっかりと伝わるように工夫する。
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1			いつも色々なプログラムが行われていると感じます。	集団プログラム作成時には、複数の職員から意見を募り、マンネリ化しないよう心がけている。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	11	4	1	4	ないと思います。	今後機会を設けられるよう検討していく。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20				あったと思います。	契約時に必ず説明している。
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20				されたと思います。	面談時や計画書の署名をいたぐ際に説明している。
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアメント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1		1	参加したことがない。	家族で参加できるイベントの頻度を増やし、周知に努めていく。
15	団体から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	20				何かあったときはご連絡いただいています。	連絡帳や公式LINE等で情報共有をおこなっている。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20				相談した際、丁寧に対応してくださいました。	面談時をはじめ、必要に応じて質問を承っている。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19			1	共感的というのがよく分からないです。	お子様と対等に接することを心がけている。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているのか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	1	1	1	きょうだいへの支援はされていないと思うので、今後機会を作ってほしい。	きょうだい同士向けのイベントはまだ開催できていないので、今後検討していく。
19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してもそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20				相談にもすぐに対応してくれました。	電話でのお話や公式LINEなどから対応している。
20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20				されていると思います。	活動記録での発信や、公式LINEでの対応を行っている。
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20				公式LINEから確認しています。	公式LINEや、ハグシステムでの活動記録で、毎日のプログラムの内容や日々の様子を発信している。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20				思います。	個人情報保護法に関する研修などで、職員間で周知を徹底している。
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16			4	説明があったかと思いますが忘れてしましました。	契約時に説明しているが、それだけでなく定期的に説明を行うことで、保護者が把握できるよう努める。
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16			4	説明があったかと思いますが忘れてしましました	職員研修やプログラムで訓練を取り入れている。
25	事業所により、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18			2	説明があったかと思いますが忘れてしましました	必要に応じた職員を配置し、安全対策をおこなっている。
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			1	事業所で預かり中の事故は今までありません。 体調不良など少し変わったことがあるとすぐに気づいて教えていただけるのでとてもありがたいです。	なにかあった場合は迅速に連絡し、適切な対応、説明に努めている。
満足度	こどもは安心感をもって通所していますか。	20				いつも楽しそうにしています。	今後もお子様が安心して通える環境、支援を提供していく。
28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1			母子分離がなかなか上手くいかないため。 行ってしまうと活動を楽しんではいるようです。	お子様が安心して通える環境、支援を提供していく。
29	事業所の支援に満足していますか。	20				満足しています。	今後もお子様に合わせた支援を計画し、行っていく。

公表:令和 7年 11月11日

事業所名 こばんはうすさくら豊田西園教室

(職員数) 15人 (回収) 15人 (回収率) 100%

チェック項目		はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	0	放デイと児発で部屋が分かれており、適切なスペースがある
	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	1	専門職の職員も配置されており適切である 足りないを感じるときもある。
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	0	トイレなどバリアフリー化されている。またカームダウンエリア等の場所もあり環境上の配慮もしっかりとできている 適切な環境整備がされている。
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0	季節の気温に合わせて適切な室内温度を保つことや、感染症対策として空気清浄機なども置いてある。また子どもたちの活動に合わせた空間作りを行なっている。日頃から清掃しており、清潔である。
	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	0	カームダウンエリアとして、さまざまな部屋もあり、必要に応じて使用している。 状況に合わせて個室を使っている。
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	14	1	把握出来ていない所あります。 業務の効率化、改善を図るために職員は取り組んでいる。また広く職員が参画できるよう努めている。 職員間で計画、振り返りを行っている。
	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	2	保護者の方との接点がなく、わからない。 保護者様のご意見は職員間で周知し療育に努めている。 保護者アンケートを行っている。
	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	2	意見交換の時間なく、個人的に意見を聞く事がある。 定期的に面談等もあり業務改善等につなげられている。 面談や意見箱を設けている。
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	5	まだわかりません。 外部評価を行い事業所をより良く療育に努められるように努力している。 SVなどの訪問がある。
	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	さまざまな研修の機会がある。また研修内容も周知している。 定期的な研修機会がある。
適切な支援の提供	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0	カンファレンスも行ななどしっかりと作成し、公表もしている。 子供に合わせたプログラム作成がされている。
	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	15	0	アセスメントやモニタリングを定期的に行い、計画を作成している。 適切なアセスメントを行っている。
	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0	カンファレンスもしっかりと行い検討が行われている。 職員間で情報共有しながら計画案を作成している。
	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	1	時間のない時は難しい時もある。 全職員間で共有し、支援前にも確認している。 計画に沿った支援を行っている。
	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	0	フォーマルなアセスメント、インフォーマルなアセスメントともに確認し療育している。 確認している。
適切な支援の提供	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0	モニタリングを通じて得た情報をや相談支援員などから、話を伺い、支援内容を設定している。 しっかりとアセスメントやモニタリングを行なった上で支援内容が設定されている。 上記項目を踏まえながら適切な支援内容を設定している。
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0	協力依頼があれば、参加する。 朝礼やカンファレンスを行いチームで行なっている。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	0	さまざまな職員が取り組み、固定化しないように工夫している。 同じ活動を行わないよう工夫している。
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	14	1	子どもの状況に合わせ、5領域も考慮した上で個別、集団活動等組み合わせた計画の作成が行われておらず、また周知した中療育に努めている。 子どもの状況を共有しながら計画作成、支援を行っている。
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	1	毎朝行なっており、全職員への周知も行なっている。 どのような支援を行うか打ち合わせをしている。
適切な支援の提供	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	1	それぞれ気になった事がある時は共有できているが特に打ち合わせの時間は設けていない。 出勤時、説明を受ける。 振り返りを行い相談できる環境も整っている。また振り返りシートも行い業務改善につなげている。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	2	記録は日々徹底してとっている。また前体での周知も行なっている。
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	しっかりと定期的なモニタリングを行なっている。また必要に応じて見直しも行なっている。 半年に1回行っている。
	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	14	1	月刊プログラムの中にしっかりと組み込まれている 意識したプログラム作りができている。
	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	14	1	お子様の意思を尊重することを教わりました 答えはお子様の中にあるという運営指針の下取り組んでいます

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	0	日々子どもと接している職員が参画している。 児発管が参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	1	わかりません。 学校や相談支援専門員の職員等、関係機関と連携して支援を行なっている。 提携の医療機関がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	15	0	月末には学校や円に利用予定表を送付しあい迎え時間等の確認を行なっている。 学校や園ではできる限り情報を共有できるように心がけている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	2	保護者様の了解の元行っている 園訪問を実施している
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	5	まだそのようなお子様がいない 途中で他の事業所に移行しているので、その先に情報共有など行なっている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	15	0	わかりません。 スーパーバイザーから助言を受ける機会がある。 研修に行く機会がある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	12	3	わかりません まだありません。 外出活動など、地域の中で他の子どもと関わり合う機会がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	9	わからない 自身は参加していない 機会があるのか分からぬ
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	共通理解を持てるように、細かな情報共有など行なっている。 送迎時や面談で伝えている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	1	わかりません。 保護者同士が集まる機会もあり情報提供や情報会が行われている。 保護者が参加できるイベントがある。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	丁寧な説明に努めている 契約時に行なっている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	子どもや保護者の意向を確認する機会は設けられており、それに基づいて計画が作成されている。 面談にて確認している。
保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14	1	丁寧な説明を行い、同意を得ている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	1	わかりません。 行なっている。 相談があつた際には適切に対応している。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	1	解らない。 保護者会（てらこばカフェ）を行なっている。 定期的に交流の場が設けられている。 保護者同士の交流機会を設けている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	1	わかりません。 迅速に対応し、適切に対応するように努めている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	1	インスタグラムなど時代に合わせた発信を行なっている。 活動記録を配信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	日々留意して療育に努めている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0	意思の疎通をしっかりと行き、情報伝達の配慮をしている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	5	保護者様の意志に従う 希望があれば今後検討していきたい
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	1	まだ参加していません。 定期的に訓練を行い、マニュアルも周知している。 常に掲示し、訓練も行なっている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっているか。	14	1	まだ参加していません。 定期的に行なっている。 定期的な見直しも行なうが訓練も行なっている。
非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	14	1	インテーク、アセスメント時に確認している。変更があれば、ご相談より連絡をいただけるようお願いしている。 学校等とも連携しながら情報共有している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	1	アレルギーのあるお子様については特定の食べ物を提供していない。また保護者からの連絡により周知している。 母親と共にしている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	1	研修、訓練を行い、支援を行なっている。 わかりません。 安全管理を意識した中、日々の療育に努めている。 安全計画を作成した上で適切な支援を行なっている。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	3	わかりません。 内容については周知していると思う。連携が取れるように体制は整っている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	2	ヒヤリハットの事例をみていない。 対応策の共有を行い、再発防止に努めている。 ヒヤリハットがあつた際は記録し、共有している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	2	研修に参加していないので、わからない。 研修を行い、虐待ない支援を徹底している。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13	2	参加していないので、わからない。 記載されている。